



小池作兵衛翁之像

小池作兵衛と 上ヶ平開拓

～天保の飢饉と新田開拓～

主催：一般財団法人下呂ふるさと文化財団

共催：下呂郷土史研究会

講師：小池 秀雄(ひでお)先生(下呂市)

「小池作兵衛と上ヶ平開拓」

腕じゃナア～作兵衛、度胸じゃ久兵衛～ と「ずんどせ」に歌われた小池作兵衛は、文化10年(1813年)に森村(現、下呂市森)に誕生。昨年は作兵衛生誕200年記念祭が行われました。

彼が20歳の頃、飛騨を襲った飢饉(天保の大飢饉)の悲惨さを目の当たりしたこと、上ヶ平開墾を主唱することになったとされています。多くの反対を受けつつも、184回もの協議を重ね不屈の開拓精神をもって開墾事業に着手します。第20代飛騨郡代、豊田藤之進友直の後押しを得て天保12年(1841年)29歳の時に開墾事業に着手、弘化2年(1845年)に新田開発竣工に辿り着きます。その後次々と開拓は続けられました。

作兵衛は、明治20年(1887年)に75歳で生涯を閉じましたが、大正11年(1922年)彼の偉大な功績を称えて小池作兵衛の顕彰碑が森区の青年団によって建立されました。



小池作兵衛翁碑

2/23 (日) 13:00 開場 13:30 開講

会場：下呂交流会館 マルチスタジオ
入場無料 (どなたでも入場いただけます)

■講師 小池 秀雄(こいけ ひでお)先生のプロフィール

昭和11年(1936)生まれ。

小池作兵衛の末裔

下呂の昔話を語る会 会長、下呂郷土史研究会 会長、下呂石シンポジウム実行委員会 委員長、飛騨歴史民俗学会 顧問、三峰奉賛会 会長 などの役職等を歴任。

落合工房で下呂石の研究や石器を作成する。学校の生徒たちにも石器作りの講師を務める。

問合せ：一般財団法人下呂ふるさと文化財団 0576-25-5000(下呂交流会館内)
下呂郷土史研究会(松波) 0576-25-2004